

授業科目名	カリキュラム開発演習
科目番号	CB23172
単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	秋AB 木1,2
担当教員	
授業概要	本演習ではカリキュラム開発についてカリキュラム研究の視点から発展的な理解を得るため、関連文献の精読を通じた発表と議論を行う。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学における総合的思考力、教育学的実践力、教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	事例に即してカリキュラム開発の具体と課題について理解できるようになる。 カリキュラム研究をめぐる問題の射程について理解できるようになる。
授業計画	<p>第1回 本演習のオリエンテーション</p> <p>第2回 カリキュラム開発について</p> <p>第3回 「能力」をどう測るのか/そもそも測れるのか?(1) 教育課程の能力主義を相対化する</p> <p>第4回 「能力」をどう測るのか/そもそも測れるのか?(2) 教育課程の能力主義を相対化する</p> <p>第5回 カリキュラムを通して「過去」を克服する(1) ドイツの歴史教育カリキュラム</p> <p>第6回 カリキュラムを通して「過去」を克服する(2) ドイツの歴史教育カリキュラム</p> <p>第7回 教育課程は「よい」のか?(1) 教育することの倫理を考える</p> <p>第8回 教育課程は「よい」のか?(2) 教育することの倫理を考える</p> <p>第9回 疑似科学の教育課程(1) 教育内容における事実と虚偽のあいだ</p> <p>第10回 疑似科学の教育課程(2) 教育内容における事実と虚偽のあいだ</p> <p>第11回 食べることのカリキュラム(1) 学校教育における食育の問題</p> <p>第12回 食べることのカリキュラム(2) 学校教育における食育の問題</p> <p>第13回 教育内容の「脱学校」は可能か(1) オルタナティブな教育の可能性</p> <p>第14回 教育内容の「脱学校」は可能か(2) オルタナティブな教育の可能性</p> <p>第15回 教育課程における「主体性」の問題(1) アクティブ・ラーニングのポリティクス</p> <p>第16回 教育課程における「主体性」の問題(2) アクティブ・ラーニングのポリティクス</p> <p>第17回 新しいメディアとカリキュラム(1) ニュー・メディア言説と批判的に対峙するために</p> <p>第18回 新しいメディアとカリキュラム(2) ニュー・メディア言説と批判的に対峙するために</p> <p>第19回 本演習のまとめ(1)</p> <p>第20回 本演習のまとめ(2)</p>
履修条件	
成績評価方法	コメントペーパー(40%)、演習中の発表(60%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	2回に1度指定文献を配布するので、必ず精読のうえ演習に参加し議論に積極的に参加すること。
教材・参考文献・配付	配布資料は演習担当者が適宜準備する。

資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	随時(会議、出張、授業を除く)。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	詳細は初回に指示する。 初回欠席者は、原則として履修できない。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	カリキュラム，カリキュラム開発